

令和7年度 日南市立大窪小学校の教育計画

1 学校経営の方針と経営ビジョン

学校の教育目標を「自ら学び 心豊かに たくましく生きる 大窪っ子の育成」と掲げる。この教育目標の達成のため、本年度は特に「がんばるぞう〔児童〕」を「ささえるぞう〔教職員〕」という理念のもと、地域、児童、学校の「人・もの・こと」を大切に、極小規模校の利点を最大限に生かした「チーム大窪」として、児童一人ひとりが夢や希望に向かって学び続ける学校を目指す。

【学校の教育目標】
自ら学び 心豊かに たくましく生きる 大窪っ子の育成

めざす学校像

「がんばるぞう」を「ささえるぞう」

	児童像	<ul style="list-style-type: none"> ◎ よく学ぶ [よく考え発信できる・目標に向かって努力] ◎ 思いやる [助け合う・進んでボランティア活動] ◎ たくましい [困難にくじげない・健康で規則正しい生活]
	教師像	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 地域や子ども、学校の「人・もの・こと」を大切にする ◎ 学び続ける ◎ 自己統制力、コンプライアンス
	家庭・地域像	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 基本的な生活習慣(しつけ)を大事にする ◎ 教師と考えを共有しようとする

取組の重点

<ul style="list-style-type: none"> ◎ 極小規模校における「ひなたの学び」と個別最適な学びの研究推進 <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> 校内研究 外部講師活用 特別支援教育の視点 </div> <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 学力向上・指導力向上・コミュニケーション能力の向上・ICT活用推進 ⇒ 特別支援教育の推進 ⇒ たくましさの向上 ◎ 他校との連携 <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> 小学校との集合学習 細田中との連携 </div> <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 学力向上・指導力向上・コミュニケーション能力の向上 ⇒ 進学に係る不安の解消 ⇒ たくましさの向上 ◎ 「地域の中の学校」を印象づける取組 <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> 地域人材、地域素材の積極的活用 運動会の充実 閉校式典の充実 </div> <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 郷土愛の向上・地域活性化 ◎ 働き方改革の推進、働きがいの向上 	<div style="margin-bottom: 20px;">学力向上</div> <div style="margin-bottom: 20px;">豊かな心の育成</div> <div style="margin-bottom: 20px;">地域との連携</div> <div>働き方改革</div>
<ul style="list-style-type: none"> ◎ 令和7年度 大窪小システム；「学級担任制」から「学年担任制」へ <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 働き方改革・指導力向上・相談活動の充実 	

2 重点指導目標と具体的取組

重点目標	目指す具体的な姿	評価指標
学力向上	児童は一人ひとり異なる特性をもつことを理解したうえで、確実に身に付けなければならない各教科の基礎・基本を身に付け、学んだことを様々な面で生かすことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別な支援を必要とする児童の困り感を的確に把握し、個に応じた指導・助言・激励を徹底し、学びへの意欲を高め持続させることができたか。 ○ 一人一台端末環境を前提としたICT・教育データを利活用することができたか。
	豊かな心の育成	先生や友だちの話をしっかり聞いたり、自分の気持ちや考えを上手に伝えたりすることができる。
地域との連携		地域の伝統文化の継承や、人・もの・ことに関心をもち、ふるさとを誇りに思う心をもつことができる。
	学校の教育活動を積極的に発信する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校運営協議会、参観日、学校保健委員会の充実を図るとともに、学校WEBによる定期的な情報発信を行うことができたか。
働き方改革の推進と働きがいの向上	校務の精選を図るとともに、協力的な教授システムを構築する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の重点課題から教育活動を精選するとともに、個々の教職員の適性を生かした学校運営を行うことができたか。
	外部人材の積極的な活用を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ スクールカウンセラーや教員業務支援員、学生ボランティア等の人材を効果的に活用したか。